

別表第1

経済学部の3つのポリシー

(学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー)

経済学部では、下記の事項を達成した者に対し、学士の学位を授与する。

1. 経済学の基礎的理論を理解し、それに基づいて現実の経済社会の諸事象を説明できる。
2. 地域経済や国際経済、金融・公共部門が抱える諸問題を理解し、それに取り組む能力を修得している。
3. 多様な文化と価値を知った上で、現実の問題解決能力と、公共の福祉に寄与するためのモラルや人間力を備えている。

(教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー)

経済学部のカリキュラム・ポリシーは下記のとおりである。

1. 入門科目、共通科目を履修させた後、地域経済・国際経済・金融・公共・経済教育の各トラックの推奨科目の履修により、卒業後の職業を見据えた応用力・実践力を段階的に養成する。
2. ゼミナール等の少人数教育によって、議論を通じて他者との相互理解を深めるとともに、問題発見能力やコミュニケーション能力等の社会人に必要とされる知識やスキルを身につけさせる。

(入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー)

経済学部は、次の意欲を持った人を受け入れる。

1. 入学前に経済学を学ぶ上で必要な基礎学力を培うと同時に、地域・日本・世界の経済に関して幅広い関心を持ち、大学での勉学に積極的に取り組む人。
2. 卒業後には経済の知識や資格を生かして地域社会に貢献したい、あるいはグローバルに活躍したいと考え、その実現に必要な能力を身につけようという意欲を持つ人には、勤労者や社会人も含めた広い世代に門戸を開いている。

別表第1

商学部第一部の3つのポリシー

(学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー)

商学部は、教育課程の中から指定された単位を含め、124単位以上を修得し、次の能力と資質を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 理論と実践の両面から学び、主体的に地域社会にかかわることができる。
2. 多様な考えに触れながら、理解し自分の考えの確かさを追及することができる。
3. 収集した情報を整理し、他者にわかりやすく伝えることができる。
4. 知識、社会適応力、総合的な学修経験を獲得し、社会の発展に貢献できる。

《商学科》

1. 幅広い教養と専門分野の基礎となる実践的な知識を身につけ、活用することができる。
2. 商取引に関して正しく理解できる。
3. 問題の発見、課題の設定と解決策の検討実施ができる。
4. マーケットとビジネスに精通した企業人及び起業家としてのマインドを持つことができる。
5. コミュニケーションを図りながら、自分の考え・意見を伝えることができる。

《観光産業学科》

1. 観光産業の本質を正しく理解することができる。
2. 観光ビジネス、観光まちづくりに関する高度な専門知識を身につけ、活用することができる。
3. 問題の発見、課題の設定と解決策の検討実施ができる。
4. 多様な価値観の共有ができ、広く地域社会へ貢献することができる。
5. コミュニケーションを図りながら、自分の考え・意見を伝えることができる。

(教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー)

商学部は、学位授与の方針に掲げる能力や資質を育成するとともに、学生の能力を最大限に引き出し、「社会を生き抜く力」を備えた人材の養成を目指し、次の方針に基づきカリキュラムを編成する。

1. 「産学一如」という本学の建学の理想を体現することを目的に専門能力の修得を目指す専門科目群、社会に求められる豊かな教養と社会人力と国際化の進展に対応できる幅広い教養を教授する基礎教育科目群と外国語科目群のカリキュラムを体系的に編成している。
2. 幅広い視野と豊かな人間性を育み、社会で活躍できるための基礎的な力を身につけることを目的として、「基礎教育科目」に実践科目、教養科目を置く。
3. 各学科の「専門科目」では、学生が専門的な知識や技能を修得し、専門的なものの見方や考え方の基本を学ぶことができる。
4. 「実践力育成科目」では、課題発見・解決力などの育成を通して、学生が社会的に自立し活躍できる力を身につけることができる。

《商学科》

1. 商学を中心として、商業の本質について考察する理論的側面と、経済社会及び企業活動での応用・展開を追究する実践的側面から、多面的な視点を養うためのカリキュラムを編成している。
2. 商学・会計学・経営学・経済学など、幅広い分野の基礎から応用まで、ビジネス全般に関する総合的な教育を行っている。

《観光産業学科》

1. ホスピタリティ・マインドを養うとともに多様な価値観を持つ豊かな人間性を育むための教育を行っている。
2. 心の満足を提供する「観光ホスピタリティ・ビジネス」と地域・人との交流に重点を置く「観光地域マネジメント」の両面から観光産業の総合力を修得できるようにカリキュラムを編成している。

(入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー)

商学部は、企業・経済活動、地域社会、国際社会に対応できる多様な価値観と幅広い視野を持つ「快活で行動力のあるビジネスリーダー」の育成を目指す。理論と実践の両面から学び、多様な学問・文化・言語・価値観の交流に積極的に取り組み、新しい時代に対応する「変化力」を身につけ、地域社会に主体的に貢献しようとする次のような学生を積極的に受け入れる。

《商学科》

1. 世の中の動きを敏感にとらえ、旺盛な好奇心を持って、ビジネスを考えようとする人
2. 「ヒト・モノ・カネ・情報」の流れに関心があり、ビジネスに関する専門的な知識・見識を修得しようとする人
3. 勉学に真摯に取り組み、努力する習慣を身につけようとする人
4. 社会に主体的に貢献したいと思っている人

《観光産業学科》

1. 人との交流やサービス業に関心があり、観光に関する専門的な知識を修得したい人
2. 自然や文化を愛し、それらとのかかわりを通じて豊かな人間性を育みたい人
3. 地域や郷土を愛し、それらを発展に寄与したい人
4. 将来、観光産業やホスピタリティ・ビジネスの分野で活躍したい人

別表第1

商学部第二部の3つのポリシー

《学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー》

商学部は、教育課程の中から指定された単位を含め、124単位以上を修得し、次の能力と資質を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 理論と実践の両面から学び、主体的に地域社会にかかわることができる。
2. 多様な考えに触れながら、理解し自分の考えの確かさを追及することができる。
3. 収集した情報を整理し、他者にわかりやすく伝えることができる。
4. 知識、社会適応力、総合的な学修経験を獲得し、社会の発展に貢献できる。

《商学科》

1. 幅広い教養と専門分野の基礎となる実践的な知識を身につけ、活用することができる。
2. 商取引に関して正しく理解できる。
3. 問題の発見、課題の設定と解決策の検討実施ができる。
4. マーケットとビジネスに精通した企業人及び起業家としてのマインドを持つことができる。
5. コミュニケーションを図りながら、自分の考え・意見を伝えることができる。

《教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー》

商学部は、学位の授与方針に掲げる能力や資質を育成するとともに、学生の能力を最大限に引き出し、「社会を生き抜く力」を備えた人材の養成を目指し、次の方針に基づきカリキュラムを編成する。

1. 「産学一如」という本学の建学の理想を体現することを目的に専門能力の修得を目指す専門科目群、社会に求められる豊かな教養と社会人力と国際化の進展に対応できる幅広い教養を教授する基礎教育科目群と外国語科目群のカリキュラムを体系的に編成している。
2. 幅広い視野と豊かな人間性を育み、社会で活躍できるための基礎的な力を身につけることを目的として、「基礎教育科目」に実践科目、教養科目を置く。
3. 各学科の「専門科目」では、学生が専門的な知識や技能を修得し、専門的なものの見方や考え方の基本を学ぶことができる。
4. 「実践力育成科目」では、課題発見・解決力などの育成を通して、学生が社会的に自立し活躍できる力を身につけることができる。

《商学科》

1. 夜間講座の特徴を活かし、即戦力養成のための資格講座の単位化を行っている。
2. 他学部履修の選択幅の拡大など、多様なライフスタイルを持つ学生に対応できる教育を行っている。

《入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー》

商学部は、企業・経済活動、地域社会、国際社会に対応できる多様な価値観と幅広い視野を持つ「快活で行動力のあるビジネスリーダー」の育成を目指す。理論と実践の両面から学び、多様な学問・文化・言語・価値観の交流に積極的に取り組み、新しい時代に対応する「変化力」を身につけ、地域社会に主体的に貢献しようとする次のような学生を積極的に受け入れる。

《商学科》

1. 世の中の動きを敏感にとらえ、旺盛な好奇心を持って、ビジネスを考えようとする人
2. 「ヒト・モノ・カネ・情報」の流れに関心があり、ビジネスに関する専門的な知識・見識を修得しようとする人
3. 勉学に真摯に取り組み、努力する習慣を身につけようとする人
4. 社会に主体的に貢献したいと思っている人

別表第1

経営学部の3つのポリシー

《学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー》

経営学部は、建学の理想（産学一如）と理念のもとで、経営学の専門的な学修により、広く産業界の期待に応えられる“実践力”“熱意”“豊かな人間性”を持った心身ともに健全な国際的教養人として、21世紀のグローバル化社会・知識基盤社会の要請に対応できる人材育成を目的に定め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 経営学を基盤とした問題解決能力を持ち、マネジメントの重要性を認識している。
2. そのための要件として、①幅広い教養と経営学の専門的知識の活用、②論理的思考と判断、③経営学の技術・技能の修得による創造力・実践力の発揮、④多様な人々とのコミュニケーションと社会発展に貢献する熱意、⑤広い視野と他者の主体的な協力、の5つを備えている。

《国際経営学科》

国際経営学科では、学部の要件に加え、グローバル化社会で活躍できる人材として、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 異文化を理解する能力を備えている。
2. 専門的な職務遂行に有用な語学力を備えている。
3. 地球社会全体の発展を視野に入れたビジネス・パーソンとして行動できる。

《産業経営学科》

産業経営学科では、学部の要件に加え、知識基盤社会で活躍できる人材として、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 独立心旺盛な経営者候補生としてIT革命による環境激変への対応能力を備えている。
2. 知識基盤社会の要請に対応した起業家マインドとビジネス・スキルを備えている。
3. 社会貢献を意識したビジネス・パーソンとして行動できる。

《教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー》

経営学部は、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を学生に修得させるため、次の教育課程編成・実施方針をとる。

1. 幅広い教養及び総合的な判断力を培うとともに豊かな人間性を持った人材を育成するためにKSU基盤教育の課程を置く。
2. 経営学の知識・理論・技術を学びグローバル化社会・知識基盤社会で実践できる人材を育成するために専門教育課程を編成する。
3. 専門教育課程は、①全学年・学期開講のフル・ゼミナール体制と、②学科独自の特別コースからなるマルチ・ゼミナールのシステムを中核として編成する。
4. KSUプロジェクト型教育は、経営学部型PBL（学生創発型PBL）の手法により実施する。
5. ゼミナールやPBLは、学生に能動的な学修を促すアクティブ・ラーニングを基本とする。

《国際経営学科》

国際経営学科では、学部の方針に次の要件を加える。

1. グローバルな視野と異文化理解能力及び語学力を修得したビジネス・パーソンを育成するための特別コースとしてコース演習を中核とする国際ビジネスコースを置く。
2. 会計の資格を活かしてグローバル社会に貢献する人材育成の特別コースとして会計コースを置く。

《産業経営学科》

産業経営学科では、学部の方針に次の要件を加える。

1. 商品開発や地域貢献等の実践活動を通じて起業家マインドとビジネス・スキルを修得するための特別コースとして、コース演習を中核とする事業開発コースを置く。
2. 会計の資格を活かして地域基盤社会に貢献する人材育成の特別コースとして会計コースを置く。

(入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー)

経営学部は、建学の理想(産学一如)と理念のもとで、経営学の専門的な学修により、広く産業界と地域の要請に応えられる有能な人材の育成を目的とした学位の授与方針及び教育課程編成・実施の方針に相応しい学生として、次の能力・意欲を持った人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 建学の理想(産学一如)と理念を理解し、学修意欲が高い人。とりわけ、ビジネスを通じた社会貢献を将来の目標とし、その実現のために経営学を学ぶ明確な意志を持つ人
2. ①基礎的・基本的知識・技能、②課題解決のための思考・判断・表現力、③主体的学修に取り組む態度を備え、物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
3. 語学・情報・簿記など特定分野で卓越した能力を持っている人

《国際経営学科》

国際経営学科では、学部の要件に加え、次の意欲を持った入学者を求める。

1. グローバル化社会で活躍するための異文化理解能力と、専門的な職務遂行に必要な語学力を高めた人

《産業経営学科》

産業経営学科では、学部の要件に加え、次の意欲を持った入学者を求める。

1. 知識基盤社会の要請に対応した起業家マインドとビジネス・スキルを高めた人

別表第1

理工学部 の 3 つ の ポリシー

《学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー》

理工学部では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 各学科（情報科学科、機械工学科、電気工学科）における基礎的な専門知識を修得し、かつ専門知識を様々なアプリケーションに活用できる。
2. 論理的思考力・コミュニケーション能力・協調性・主体性・技術者としての倫理観を身に付け、創造力・実践力を発揮できる。
3. 情報メカトロニクスに関わる技術・技能を修得し、地域社会の発展に貢献できる。

《情報科学科》

情報科学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 情報技術及び情報数理における基礎的な専門知識を修得し活用できる。
2. 情報分野を基盤とした機械・電気工学の分野において活躍できる。
3. 高い倫理観を持った技術者として円滑なコミュニケーションを図りながら地域社会の発展に貢献できる。

《機械工学科》

機械工学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 機械・ロボット・メカトロニクス分野の仕事で必要とされる基礎的な数学、機械工学の基礎及びこれらを産業界で生かすことができる。
2. 技術者として必要とされる倫理観、協調性を備え、コミュニケーション能力、問題解決能力を発揮できる。

《電気工学科》

電気工学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 電気回路・電磁気に関する専門基礎の理解の上に、電力と情報通信に関連したエネルギー及びシステムに関する高度な専門知識と技術を学び、これらを実務に適用できる。
2. 技術者倫理を身に付け、論理的に説明・討論するコミュニケーション能力を発揮できる。

《教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー》

理工学部では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような教育を実施する。

1. 自然科学の仕組みを理解する幅広い知識を養うための KSU 基盤教育、産業界・地域社会の要望に応えるための専門教育
2. 学部単位で仲間と助け合いながら、チームで課題解決に取り組むプロジェクトデザイン教育
3. 協調性・主体性・積極性・独創性を育み、コミュニケーション力・課題解決力を養い、理工学分野において付加価値が高い技術を生み出すための教育
4. モノづくり等の生産現場で活躍するための教育

《情報科学科》

情報科学科では、学部の要件に加え、次のような教育を実施する。

1. 「専門基礎科目」による情報領域の基礎分野の教育
2. 「情報数理科目」による数学的な理論的基礎の幅広い教育
3. 「計算機科学科目」による計算機科学の基礎分野の教育
4. 「専門展開科目」による情報技術及び情報数理の応用分野の教育
5. 「実践力育成科目」による実践的に活用できる人材を育成する教育

《機械工学科》

機械工学科では、学部の要件に加え、次のような教育を実施する。

1. 数学や物理の基礎から、ロボット・メカトロニクスを含む機械工学を段階的に学ぶための教育
2. 産業界で生かせるように、座学のみならず演習・実験・実習を積極的に取り入れた体系的なカリ

キュラムによる教育

3. 機械、ロボット、生産技術に分けた「コース専門科目」等により現場で役立つ実践力を育成する教育
《電気工学科》

電気工学科では、学部の要件に加え、次のような教育を実施する。

1. 1、2年次には技術者キャリア形成、工学基礎、専門基礎など基礎力養成の教育
2. 3、4年次には電気エネルギー又は通信システムコースの専門を深く学ばせ、また、KSU プロジェクト型教育、実験や卒業研究で実践力修得の教育
3. 演習で資格取得をサポートし、基礎・応用力を伸ばす教育

(入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー)

理工学部に関連する学術分野で、創造的活動を行う人材と人間性豊かで国際的視野を持った人材を育成するために、次のような学生を受け入れる。

1. 情報科学・機械工学・電気工学又は情報メカトロニクスに興味がある人
2. 好奇心を持ち、何事にも積極的に取り組む人
3. 客観的な視点で物事を判断でき、自分の考えをまとめることができる人
4. 情報メカトロニクスに関連する分野の研究者・教育者を目指している人

《情報科学科》

情報科学科では、学部の要件に加え、次の意欲を持った人を受け入れる。

1. 情報技術や情報数理に強い興味を持っている人
2. 情報科学に関する専門知識を身に付けようとする意欲が高く、技術の修得にも積極的に取り組む人
3. 情報分野を基盤とした機械工学や電気工学に関心を持ち、多面的な視点から創造活動を行うことを目指す人、修得した知識を生かして地域社会に貢献したいと考えている人

《機械工学科》

機械工学科では、学部の要件に加え、次の意欲を持った人を受け入れる。

1. 機械・自動車・産業用／介護用ロボット・メカトロニクスを含む機械工学に興味がある人
2. 機械工学に関する専門知識を身に付けようとする意欲が高く、技術の修得にも積極的に取り組む人
3. 学修の成果を機械工学に関連する業務の現場で生かすことで、地域社会に貢献したいと考えている人

《電気工学科》

電気工学科では、学部の要件に加え、次の意欲を持った人を受け入れる。

1. 環境と技術の調和、社会的要請及び責任を重んじる人
2. クリーンエネルギー、燃料電池、電気モータ、パワーエレクトロニクス及び超伝導などの電気エネルギーに関心を持つ人
3. 通信ネットワーク、情報処理、ワンセグ及び半導体デバイスなどの通信システムに関心を持つ人

別表第1

生命科学部の3つのポリシー

(学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー)

生命科学部では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し学位を授与する。

1. 社会・文化・自然に関する幅広い視野と教養を備えている。
2. 化学又は生物学領域の基礎的知識と専門的知識を理解し、活用することができる。
3. 化学又は生物学領域の実験技術を修得し、結果の分析や考察を通して成果をまとめ、発表することができる。
4. 応用化学、生命科学又は食品科学分野に関する課題を積極的に発見し、解決方法を考えることができる。

(教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー)

生命科学部は、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような教育を実施する。

1. 一般教養科目を通して、社会・文化・自然に関する幅広い視野と教養を身に付ける。
2. 化学又は生物学を基盤とした複数領域の専門科目を通して、応用化学、生命科学又は食品科学分野で必要となる専門知識を身に付ける。
3. 系統立てた複数の実験科目を通して、実験技術や論理的思考力を身に付ける。
4. 卒業研究及び卒研ゼミナールを通して、課題発見能力や問題解決能力を身に付ける。

(入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー)

生命科学部は、次の能力・意欲を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 専門分野を学ぶ上で必要となる数学、国語、英語等の基礎学力を有する人
2. 化学又は生物学領域の専門分野に興味があり、知識や技術を活かして社会に貢献したいと思っている人
3. 広い視野と公平・公正な判断力を養うために、幅広い学問領域についても学習する意欲のある人
4. 学内外の様々な活動に対して、協調性を持ちながら積極的に取り組むことのできる人
5. 友愛の精神を持って勉強しようとする人

別表第1

建築都市工学部の3つのポリシー

(学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー)

建築都市工学部では、幅広い教養と建築都市工学に関する専門的知識及び技術・技能を学修し、次の実践的能力を備え、広く社会の期待に応えられる学生に卒業を認定し、学士(工学)を授与する。

1. 専門的知識を適切に活用できる能力
2. 論理的に思考し、判断する能力
3. 専門的技術・技能を学修し、創造力・実践力を発揮する能力
4. 多様な人々とコミュニケーションを行い、熱意を持って社会発展に貢献する能力
5. 広い視野を持ち、他者と協力する能力

《建築学科》

建築学科では、次の学生に卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。

1. 建築設計・計画、建築歴史・意匠、建築構造・材料・構法、建築環境・設備、都市計画に関する専門的知識及び技術・技能を学修した学生
2. 建築学に関する実践的能力を備え、広く社会の期待に応えられる学生

《住居・インテリア学科》

住居・インテリア学科では、次の学生に卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。

1. 住宅を中心に建築学一般などのハードなものづくり領域及び住居・インテリアに関わる幅広いソフトなものづくり領域に関する専門的知識及び技術・技能を学修した学生
2. 住居・インテリア学に関する実践的能力を備え、広く社会の期待に応えられる学生

《都市デザイン工学科》

都市デザイン工学科では、次の学生に卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。

1. 安心・安全で、美しく、自然に配慮した都市や公共施設の計画、設計、施工、維持管理に関する専門的知識及び技術・技能を学修した学生
2. 都市デザイン工学に関する実践的能力を備え、広く社会の期待に応えられる学生

(教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー)

建築都市工学部では、KSU 基盤教育と専門科目の正課教育を行うと同時に KSU プロジェクト型教育及びその他の正課外教育を行う。

1. 国土強靱化、インフラ及び建築物の長寿命化、住環境ストックの有効活用などの広く社会の期待に応えるための建築都市工学分野に関する実践的能力を育成する。
2. 豊かな人間性を持って、建築都市工学分野において地域に貢献する人材を育成する。

《建築学科》

建築学科では、地方の建設業界で活躍する建築士を目指す建築基本コース、国際的に通用する建築士を目指す建築総合コースを設け、建築の計画歴史、環境設備、構造生産に関する専門教育を行う。

1. 広く社会の期待に応えるための建築学に関する実践的能力を育成する。
2. 豊かな人間性を持って、建築学分野において地域に貢献する能力を育成する。

《住居・インテリア学科》

住居・インテリア学科では、住居・インテリア学を幅広く学ぶ基本コース、プロジェクト型教育を重視した地域貢献実践コースを設け、設計・デザイン分野、エンジニア分野、リノベーション分野、さらに広く生活空間の歴史や文化に関する専門教育を行う。

1. 広く社会の期待に応えるための住居・インテリア学に関する実践的能力を育成する。
2. 豊かな人間性を持って、住居・インテリア学分野において地域に貢献する能力を育成する。

《都市デザイン工学科》

都市デザイン工学科では、従来の土木工学における基礎的学問領域に加え、「土木デザイン」「都市防災」「まちづくり」「環境緑化」分野及び技術士養成プログラムにおいて応用知識やエンジニアリングデザイン能力に関する専門教育を行う。

1. 広く社会の期待に応えるための都市デザイン工学に関する実践的能力を育成する。
2. 豊かな人間性を持って、都市デザイン工学分野において地域に貢献する能力を育成する。

(入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー)

建築都市工学部は、工学における基礎的知識をベースに、国土から住まいまで連続する空間のあり方を追求する広い視野を持ち、多様な社会ニーズに応えることのできる実践的能力を有した人材養成のため、次の人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 建築都市工学に関する学修意欲が高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
3. 建築都市工学分野において卓越した能力を持っている人

《建築学科》

建築学科では、次の人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 建築の設計・計画、建築歴史・意匠、建築構造・材料・構法、建築環境・設備、都市計画に関する学修意欲の高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
3. 建築学分野において卓越した能力を持っている人

《住居・インテリア学科》

住居・インテリア学科は、次の人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 住居、ショップ、オフィスまたそのインテリアの設計・デザイン、リフォーム・リノベーション、住宅の施工・構造・設備、そして広く生活空間の歴史や文化・まちづくりに関する学修意欲の高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
3. 住居・インテリア学分野において卓越した能力を持っている人

《都市デザイン工学科》

都市デザイン工学科は、次の人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 持続可能な環境づくりや、災害に強く、安心・安全で美しく住みやすいまちづくりに関する学修意欲の高い人
2. 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
3. 都市デザイン工学分野において卓越した能力を持っている人

別表第1

芸術学部の3つのポリシー

《学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー》

芸術学部では、アーティスト、デザイナー、写真家等のクリエイターや研究者・教育者として次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 芸術の各分野における幅広い知識を備え、適切に活用できる。
2. 芸術の各分野における技術・技能を修得し、創造力・実践力を発揮できる。
3. 高い知性と豊かな感性を備え、社会と文化の発展に貢献できる。

《芸術表現学科》

芸術表現学科はアーティスト、クリエイター、研究者として次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 自律した豊かな思考理論と学際的な専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 高度な表現技術と表現技法を修得し、優れた創造力と審美力を発揮できる。
3. 絵画・立体造形・メディア芸術の芸術表現を通じて、芸術文化の創造に主体的に貢献できる。

《写真・映像メディア学科》

写真・映像メディア学科はスペシャリストとして次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 多様化する今日の社会の要求に素早く対応する幅広い教養と専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 自己を発信する技術・技法を修得し、想像力・実践力を発揮できる。
3. 写真や映像メディアを通じて主体的に社会と文化の発展に貢献できる。

《ビジュアルデザイン学科》

ビジュアルデザイン学科はデザイナーとして次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 現代社会における多様なビジュアルコミュニケーションの専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 編集や伝達に関する技術・技法を修得し、表現力・実践力を発揮できる。
3. グラフィックデザイン、イラストレーションデザインを通じて社会と文化の発展に貢献できる。

《生活環境デザイン学科》

生活環境デザイン学科はデザイナーとして次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 多様化する社会において、豊かな暮らしや環境をつくる専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 造形や構成等の技術・技法を修得し、創造力・実践力を発揮できる。
3. 工芸、プロダクト、空間演出を通じて社会と文化の発展に貢献できる。

《ソーシャルデザイン学科》

ソーシャルデザイン学科はデザイナーとして次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 将来の地域社会のブランドづくりのための専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 情報伝達や企画構築の技術・技法を修得し、提案力・実践力を発揮できる。
3. 情報デザイン、ブランドづくりを通じて地域文化や地域産業の発展に貢献できる。

《教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー》

芸術学部は、次の方針で人材を育成する。

1. 芸術の各分野の幅広い知識と技能を通じて、高い知性と豊かな感性を培い、社会と文化の発展に貢献する人材を育成する。
2. 「芸術に関する基盤的な知識」を活かす5つの能力「論理的思考力」「コミュニケーション力」「創造力」「表現力」「実践力」と各専門分野の教育を行い、豊かな人間性を持った人材を育成する。
3. KSU プロジェクト型教育及び多様な専門教育を学び、芸術の各分野で実践できる人材を育成する。

《芸術表現学科》

芸術表現学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、豊かな思考理論を培い、次世代の芸術文化を主体的に創造できる人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識を活かす5つの能力と芸術表現分野の教育を行い、高度な表現技術と表

現技法を備える人材を育成する。

3. 絵画・立体造形・メディア芸術分野のそれぞれの多様な専門科目と高度な技術を学び、芸術表現の分野で実践できる人材を育成する。

《写真・映像メディア学科》

写真・映像メディア学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、幅広い教養を培い、写真、映像を通して社会と文化の発展に貢献できる人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識を活かす5つの能力と写真、映像メディア分野の教育を行い、自己を発信する技術と技法を備える人材を育成する。
3. 写真、映像メディアそれぞれの多様な専門科目と高度な制作技術を学び、写真・映像メディア分野で実践できる人材を育成する。

《ビジュアルデザイン学科》

ビジュアルデザイン学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、ビジュアルコミュニケーション能力を培い、社会と文化の発展に貢献できる人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識を活かす5つの能力とビジュアルデザイン分野の教育を行い、高い編集力や伝達力を備える人材を育成する。
3. グラフィック、イラストレーションそれぞれの多様な専門科目と多様な表現技術を学び、ビジュアルデザインの分野で実践できる人材を育成する。

《生活環境デザイン学科》

生活環境デザイン学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、豊かな暮らしや環境をつくる能力を培い、社会と文化の発展に貢献できる人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識を活かす5つの能力と生活環境デザイン分野の教育を行い、高い造形力や構成力等を備える人材を育成する。
3. 工芸、プロダクト、空間演出それぞれの多様な専門科目と多様な技術・技法を学び、生活環境デザインの分野で実践できる人材を育成する。

《ソーシャルデザイン学科》

ソーシャルデザイン学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、ブランドづくりの能力を培い、地域社会の発展に貢献する人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識を活かす5つの能力とソーシャルデザイン分野の教育を行い、高い情報伝達力や企画構築力を備える人材を育成する。
3. 情報デザイン、地域ブランド企画それぞれの多様な専門科目と多様な技術・技法を学び、ソーシャルデザインの分野で実践できる人材を育成する。

（入学者の受け入れ方針：アドミSSION・ポリシー）

芸術学部は、次の能力・資質を持った人材から、基礎的な知識や適性を多面的・総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 建学の理想と理念を理解し、アートやデザインの分野に興味があり、創作意欲のある人
2. 好奇心を持ち、何事にも積極的に取り組む人
3. 客観的な視点で物事を判断でき、自己を発信できる人
4. 将来アーティストやデザイナー、写真家等のクリエイターや研究者・教育者を目指している人

《芸術表現学科》

芸術表現学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 絵画・立体造形・メディア芸術分野に興味があり、創作意欲のある人
2. 伝統的な技法から先端的な技術まで、好奇心を持って幅広く探究する人

3. 自由で豊かな発想と論理的思考能力を持っている人
4. 芸術表現の分野に意欲的に挑戦しアーティスト、クリエイター、教育・研究者を目指す人

《写真・映像メディア学科》

写真・映像メディア学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 写真や映像メディアの技術に興味があり、創作意欲のある人
2. 伝統的な技法から先端的な技術までを幅広く探求する人
3. 芸術性や実用性について、多面的に考察できる能力を持っている人
4. 写真のスペシャリストや映像メディアの表現者を目指している人

《ビジュアルデザイン学科》

ビジュアルデザイン学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. ビジュアルデザインに興味があり、創作意欲のある人
2. 社会におけるビジュアルコミュニケーションの機能や役割を探求する人
3. ビジュアルデザインを多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
4. グラフィックデザイナーやイラストレーター等のクリエイターを目指している人

《生活環境デザイン学科》

生活環境デザイン学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 工芸、プロダクト、空間演出それぞれのデザインに興味があり、創作意欲のある人
2. 伝統的なモノづくりや新たなモノづくりの技術・技法や考え方を探求する人
3. 人間の生活環境を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
4. 生活環境デザイン分野のクリエイターを目指している人

《ソーシャルデザイン学科》

ソーシャルデザイン学科は、次の能力・資質を持った人材を積極的に受け入れる。

1. 情報伝達やブランド企画構築に興味があり、創作意欲のある人
2. 地域産業や地域文化、地域創生の技術・技法を幅広く探求する人
3. 地域社会の課題を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人
4. ソーシャルデザイン分野のクリエイターやプロデューサーを目指している人

別表第1

国際文化学部3つのポリシー

(学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー)

国際文化学部では、次の能力を備え、学則で定められた124単位を修得した学生に学士の学位を授与する。

1. 外国文化・日本文化・人間心理を中心とした幅広い教養を身につけ、さらにそれを専門的に探究する意欲を持っている。
2. グローバル社会で活躍できるコミュニケーション力と国際感覚を有している。
3. 文化に関する自分の知識や考えを論理的に表現できる。
4. 人の心や異なる考え方を理解し、尊重することができる。

《国際文化学科》

1. 英語及びアジアとヨーロッパの言語を用いてコミュニケーションができる。
2. アジアや欧米の文化・歴史・文学・思想について幅広い知識を有している。
3. 世界の文化に対して自ら問題を発見し、その解決を考えることができる。
4. 世界の動きに広く関心を持ち、それを主体的に理解する意欲と行動力を持つ。

《日本文化学科》

1. 文学・歴史・社会にわたる日本文化の総合的な知識を有している。
2. フィールドスタディをとおして日本文化に関する鋭敏な感覚を身につけている。
3. 主体性・協調性・行動力を持って、日本の地域社会に貢献できる。
4. 世界を視野に入れて、日本文化の豊かな学識を元にグローバル社会で活躍できる。

《臨床心理学科》

1. 他者の心理を深く理解できるとともに、自己啓発を継続して行うことができる。
2. 優れたコミュニケーション能力を持って、心の問題に対し深い理解と援助ができる。
3. 臨床心理学や精神保健福祉学の知識を実践に適用できる能力を有している。

(教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー)

国際文化学部は、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成している。

1. 学部共通の「基幹科目」により、外国文化・日本文化・人間心理への教養を涵養する。
2. 「基礎文化学科目」で、文化並びに人間心理を探究する意欲を高め、専門教育への橋渡しをする。
3. 「ゼミナール」「フィールドワーク」「心理学演習諸科目」とおして、コミュニケーション力と表現力を培う。
4. 「海外研修」などにより、国際感覚と語学力を養う。

《国際文化学科》

1. 国際文化学科では2年次より3コースに分かれて専門教育を行う。
2. 「アジア文化」は、中国語・韓国語を習得し、アジアの文化・社会・歴史を専門的に学ぶ。
3. 「欧米文化」は、英語・独語・仏語を習得し、西洋の文化・歴史・思想を専門的に学ぶ。
4. 「英語コミュニケーション」では英語運用能力の飛躍の向上を図る。

《日本文化学科》

1. 日本文化学科では2年次より2つのコースで専門教育を行う。
2. 「日本語日本文化」では、古典から近現代までの日本文学、国語学や伝統文化など日本の言語文化を多角的に学ぶ。
3. 「歴史・社会」では、歴史資料講読によって日本の歴史を専門的に学ぶほか、現地調査をとおして地域の社会・民俗を実践的に学修する。

《臨床心理学科》

1. 臨床心理学科では、2つのコースを設けて専門教育を行う。
2. 「コース科目」の学科共通科目において、臨床心理学及び精神保健福祉学の理論的学習を行うと同時に、人々を取り巻く多彩な環境に対する適応について深く理解する。

3. 3年次より「臨床心理」「精神保健福祉」の2コースに分かれ、体験型の実習・演習を中心に、専門的知識と技能を学び、心の専門的援助能力を修得する。

(入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー)

国際文化学部は、次のような資質や意欲を持つ学生を積極的に受け入れる。

1. 国際文化・日本文化・人間心理に強い関心を持ち、それを発展的に学修する意欲を持つ人
2. 外国語を学び、自在に操って世界で活躍したいと考えている人
3. 文化を探求し、日本と日本人の本質に迫りたいと考えている人
4. 現代世界が抱えるストレス社会やこころの様々な問題に取り組み、それらの問題解決に貢献したいと考えている人

《国際文化学科》

1. 英語の高度な運用力を身につけるだけでなく、英語以外の外国語の習得にも取り組める人
2. アジアや欧米諸国の文化や歴史的背景や現代事情を詳しく学ぶ熱意と意欲を持つ人
3. 外国語能力や外国文化の知識を活かして、広く国際社会で活躍する積極性と行動力のある人

《日本文化学科》

1. 日本の言語・文学・歴史・社会に興味を持ち、教養を深め、心を豊かにすることができる人
2. 住みやすい社会の創造に関心を持ち、地域振興に役立ちたいという熱意を持つ人
3. 日本語に興味を持ち、コミュニケーション能力を高め、情報発信力を身につけたい人

《臨床心理学科》

1. 人と関わることへの関心が高く、様々な活動に積極的に参加する意欲のある人
2. 自己の感情状態に気づき、適切な言葉として表現することができる人
3. 他者の心理状態への関心が高く、豊かな人間関係を築くことができる人
4. 社会問題への関心が高く、その背景の理解や解決に取り組む意欲と行動力のある人